

淡路夢舞台

ホテル等の運営事業者の公募開始について

— 淡路夢舞台創造的再生への共創パートナー募集 —

AWAJI FUTURE STAGE

HYOGO Prefecture × Partnership Project

公募の背景－ 淡路夢舞台の創造的再生に向けて

淡路夢舞台に込めた想い。
その価値を、兵庫県とともに次の世代へ。

2000年の節目の年、

兵庫県は、「失われた自然の再生」と「人と自然との共生」を理念に掲げ、

多彩な交流の舞台として淡路夢舞台を誕生させました。

そして今。時代の変化の中でその価値を未来へつなぐには、

守るだけでなく、新しい視点と創造的な実践が必要です。

そこで私たちは、民間の発想力、創意工夫、運営ノウハウを取り込み、

“ともに、淡路夢舞台を再生させる”という決断をしました。

これは単なる施設運営の見直しではなく、

淡路島の未来、そして地域の誇りを次世代へつなぐための

官民共創の新しいステージへの挑戦です。

時代潮流

関西圏の次なるフェーズや社会の潮流のなかで、淡路島、そして淡路夢舞台は高い注目を集めています。これを好機に、内外の人・モノ・投資の流れを呼び込み、地域の活性化に繋ぐことが重要です。

◆ 変化する価値観

時代の流れは、淡路島が育んできた価値、淡路夢舞台が掲げてきた理念と重なりあいつつあります。

観光価値は、「量」から「質」へ

観光目的が「消費」から「共感」へ。
旅行者は“そこでしか得られない体験”
を求める体験価値志向へとシフト。

ウェルネス・ツーリズムへの注目

人がよりよく生きることをめざす『ウェルビーイング』への関心の高まり。それによるウェルネス・ツーリズムの需要が高まっている。

SDGsのその先へ - Planetary Health

世界の価値観は、持続可能な開発目標（SDGs）を基盤としつつ、地球環境と人の健康を一体で捉える「Planetary Health（プラネタリーヘルス）」へ。

◆ 大阪湾ベイエリアは、交流の新たなフェーズへ

淡路島を含む大阪湾ベイエリアは大きな転換点を迎えています。観光・ビジネスの交流が一層活性化し、民間投資も広がる再構築フェーズに移行しつつあります。

大阪・関西万博（2025）

「いのち輝く未来社会のデザイン」の理念を継承し、ウェルビーイングや多様性、共生社会などの価値観が広がる。



神戸空港国際化（2025～）

2025年国際チャーター便が運航し、2030年頃、国際定期便が就航予定。都心近接の立地を生かした需要拡大が期待される。



大阪 I R 開業（2030予定）

世界水準の統合型リゾートが創出する新たなインバウンド需要。富裕層・長期滞在客を呼び込み、新たな市場形成が見込まれる。



“淡路島ならではの” の価値を活かすために

淡路島は、関西と瀬戸内をつなぐ“結節点”として高い地理的ポテンシャルを持ちます。また、自然と歴史が息づく固有の風土は、“はじまりの島”として訪れる人々の共感を呼び、“淡路島ならではの”の体験価値を創出しています。淡路夢舞台は、その価値をさらに活かす拠点となることが期待されます。

“日本の、はじまりの地”が生み出す、
高付加価値の滞在体験



歴史・文化資産

- ・ 日本文化の“源流”
- ・ 国生み神話、御食国(みけつくに)の食文化、祭礼、伝統産業



環境持続性

- ・ 循環する島
- ・ 「あわじ環境未来島構想」のもと、エネルギー自給率 100%超、食料自給率100%超



体験価値・コンテンツ

- ・ 自然が舞台装置となる“高付加価値の滞在体験”
- ・ ウェルネス、ローカルガストロノミー、アート&クラフト、プライベート性の高い宿泊体験。
- ・ 「ひょうごフィールドパビリオン」の展開



建築が生む地域価値

- ・ 現代建築とアートの舞台
- ・ 安藤忠雄氏、丹下健三氏、坂茂氏らの建築群による「建築の聖地」としてのブランド価値
- ・ 瀬戸内国際芸術祭などとの連携ポテンシャル

地理的ポテンシャル
— 関西と瀬戸内をつなぐ“結節点”

都市近接の利便性と、島ならではの自然環境の両方を兼ね備え、
多様な移動手段で関西・瀬戸内を回遊する広域観光のハブとして、
旅の起点にも滞在地にも選ばれるポジションにあります



再生の起点となる、淡路夢舞台が持つ6つの強み

大阪湾ベイエリアの新たな潮流のなかで、淡路夢舞台は“関西・瀬戸内の未来価値を担う拠点”として、多面的なポテンシャルを備えています。



1 特別なロケーション

関西圏から1時間圏内の利便性と、海と緑に抱かれた非日常的な環境による深い没入感が共存。

2 ブランド力と国際的認知

20年以上積み重ねた実績。「自然との共生」「震災からの創造的復興」という社会的メッセージの内包と安藤忠雄建築の文化的・芸術的価値。

3 広域連携のハブ

陸・海・空が交差する、ベイエリア広域観光のクロス・ポイント。

4 ウェルビーイング × 体験市場への順応性

自然、文化、食、アートが有機的に結びつく環境。国際的なウェルネスエリアとして成長。

5 複合運営という強み

多機能エリアを一体で運営してきた実績とノウハウ。宿泊・MICE・ウェルネス・アート・教育など領域横断の事業を展開できる柔軟性。

6 新しい価値創造の余地

既存資産を“読み替える”ことで、会議場→創造的オフィスなど、用途転換に対応可能な構造的ポテンシャル。

「淡路夢舞台創造的再生の基本方針（2025年12月公表）」

時代の潮流を捉え、淡路島が育んできた価値を礎に、新たな物語を生み出す“官民共創プロジェクト”として、淡路夢舞台の創造的再生を進めます。

人と自然が響きあう、新たな交流と創造の舞台へ

[再生の3つのコンセプト]

つなぐ・つどう・つくる

- ◆ 「つなぐ」 過去と未来、人と自然、地域と世界が繋がる舞台
- ◆ 「つどう」→「つくる」 出会いが創造の力を生み、未来への実践がここから始まる



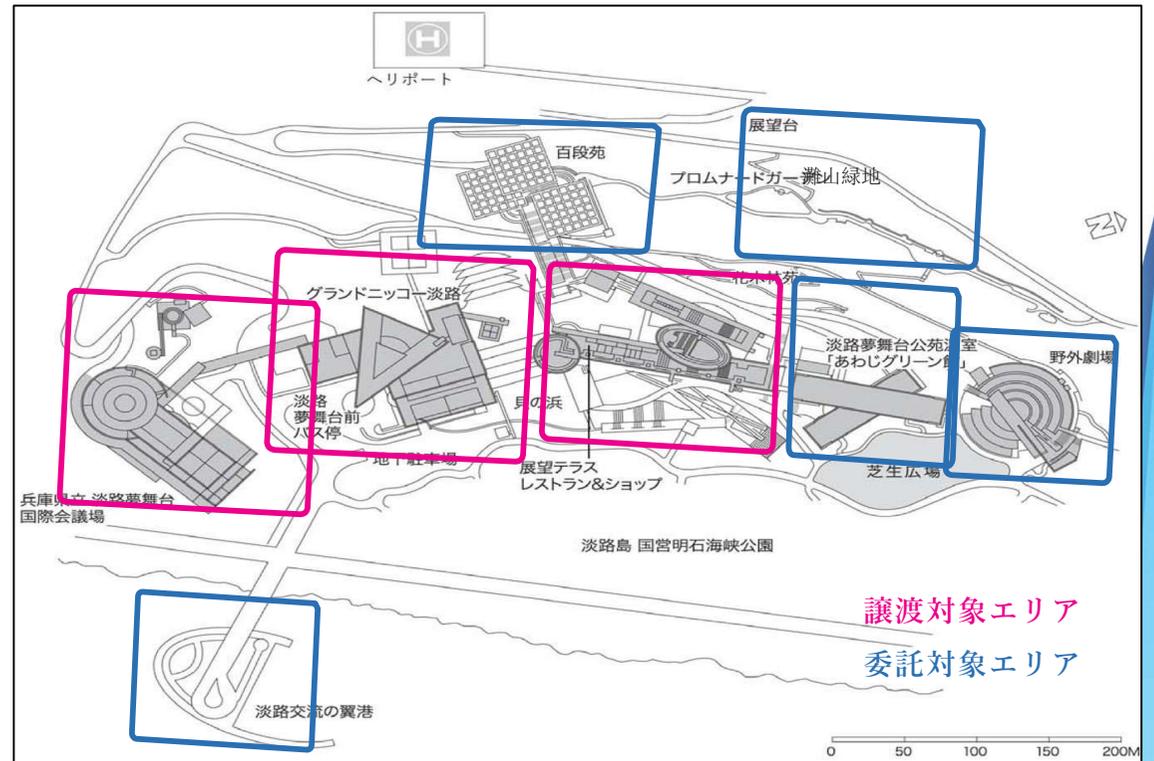
共創の枠組み－ 官民連携による持続可能な運営へ

民間の創意と活力を導入、官民連携による持続可能な施設運営を進めます。

施設名	今後の運営方針
ホテル・展望テラス	土地と建物を一体で民間に譲渡
国際会議場	「公の施設」としての位置づけに区切りをつけ、土地と建物を一体で民間に譲渡
百段苑・温室・野外劇場・灘山緑地	「公の施設」としての位置づけを維持し、管理運営を民間事業者へ委託（指定管理）。 民間事業者の創意工夫が発揮できるような公募とする。
淡路交流の翼港	



- 官民が参画する運営協議会などにより、淡路夢舞台全体の一体性や公共性の維持・確保に努めます。
- いずれの施設においても、「従業員の雇用の確保を基本」に取り組を進めます。



公募の概要

※ 詳細は公募要領をご確認ください。

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kc01/yumebutai_public-recruitment.html

1 目的

「淡路夢舞台 創造的再生の基本方針（R7.12）」を踏まえ、淡路島における地域活性化を牽引する拠点として淡路夢舞台を『創造的に再生』するため、官民共創による新たな価値創造を担う民間事業者を公募する

2 対象

ホテル・展望テラス・地下駐車場・国際会議場

一体で公募

- 県有資産
土地及び建物
- (株)夢舞台ホテル等事業
関連する事業及びそれらに付随する資産・債務（雇用を含む）



3 方式

公募型プロポーザル方式
（全体構想・事業計画・マネジメント・各施設の運営計画・提案価格等）

4 参加資格

国内での宿泊施設の運営実績を5年以上有する法人 等

5 スケジュール（概要）

- R8年3月13日 公募開始
- R8年4月27日 参加表明書提出締切
- R8年8月14日 企画提案書提出締切
- R8年9月下旬 事業予定者決定・公表



R8.3	R8.4	R8.5	R8.6	R8.7	R8.8	R8.9	R8.10	R8.11	R8.12	R9.1	R9.2	R9.3	R9.4
新たな運営事業者公募					契約交渉			譲渡実行に向けた整理／引継ぎ等				譲渡実行	
公募開始	現地見学会／競争的対話				提案書受付	事業予定者決定	契約締結			新事業者による運営開始			

新たな運営者への期待

新たな運営者に期待するのは、淡路夢舞台の理念と、県が掲げる未来ビジョンに深く共感し、この地の潜在力をともに引き出していただけ**共創のパートナー**となっ**ていただく**ことです。

淡路島が持つ比類なき自然・歴史・文化を持続可能な価値として磨き上げ、**地域社会とともに発展させていく**こと。

淡路夢舞台を、**世代を超えて誇れる場**として**育てていく**こと。

こうした取組に、**確かな理念と長期的な視点をもって参画**し、民間ならではの創造力を発揮**いただける**ことを強く期待しています。

